

Mizuho Daily Market Report

2024/8/22

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	146.16	145.21	▲0.05	▲2.12
EUR	1.1114	1.1150	+0.0020	+0.0138
AUD	0.6734	0.6744	▲0.0001	+0.0146
SGD	1.3082	1.3058	+0.0006	▲0.0104
CNY	7.1370	7.1314	+0.0021	▲0.0097
MYR	4.3771	4.3790	▲0.0025	▲0.0412
THB	34.31	34.33	+0.13	▲0.61
IDR	15499	15485	+50	▲193
PHP	56.52	56.51	▲0.05	▲0.45
INR	83.92	83.93	+0.14	▲0.02
VND	24932	24940	+15	▲102

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.801%	▲0.6 bp	▲3.4 bp
日本(10年)	0.880%	▲1.3 bp	+5.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.191%	▲2.4 bp	+1.1 bp
オーストラリア(5年)	3.564%	▲6.0 bp	▲0.7 bp
シンガポール(5年)	2.673%	▲3.0 bp	▲2.4 bp
中国(5年)	1.892%	+0.6 bp	▲0.2 bp
マレーシア(5年)	3.491%	▲2.5 bp	▲0.3 bp
タイ(5年)	2.317%	+3.4 bp	▲1.2 bp
インドネシア(5年)	6.501%	+0.0 bp	▲11.2 bp
フィリピン(5年)	5.948%	+2.4 bp	▲4.5 bp
インド(5年)	6.785%	+0.2 bp	+1.1 bp
ベトナム(5年)	2.090%	+0.0 bp	▲1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	40,890.49	+0.1%	+2.2%
N225(日本)	37,951.80	▲0.3%	+4.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,885.28	+0.6%	+3.3%
ASX(オーストラリア)	4,536.49	+0.2%	+0.2%
FTSTI(シンガポール)	3,373.76	+0.1%	+2.7%
SSEC(中国)	2,856.58	▲0.4%	+0.2%
SENSEX(インド)	80,905.30	+0.1%	+2.3%
JKSE(インドネシア)	7,554.59	+0.3%	+1.6%
KLSE(マレーシア)	1,635.32	▲0.5%	+1.4%
PSE(フィリピン)	6,900.62	▲0.6%	+2.9%
SETI(タイ)	1,337.83	+0.7%	+3.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,284.05	+0.9%	+4.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	275.41	▲0.4%	▲0.0%
金	2,512.56	▲0.1%	+2.6%
原油(WTI)	71.93	▲2.8%	▲6.6%
銅	9,136.11	+0.6%	+3.1%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.60	—	147.80
EUR/USD	1.0890	—	1.1160
AUD/USD	0.6585	—	0.6780
USD/SGD	1.3010	—	1.3180
USD/CNY	7.1260	—	7.1890
USD/INR	4.3500	—	4.4530
USD/THB	33.90	—	35.05
USD/IDR	15400	—	15750
USD/PHP	56.40	—	57.10
USD/INR	83.00	—	84.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は145円台前半でオープン。ほどなくして144円台後半まで下押すも145円割れでのドル買い需要は強く、底堅さが意識された。東京仲値にかけてはドル買い優勢となり、145円台半ばへ上昇。午後ともポジション調整によるドル買いが入ったとみられ、145円台後半まで上値を伸ばし、海外に渡った。アジア通貨は対ドルで堅調推移。特にタイバーツは一時0.3%上昇となり、昨年7月下旬以来の高値をつけた。昨日はタイ、インドネシアにおいて中銀会合が開催されたがいずれも政策金利据え置きを決定。

NY時間のドル円は146円台前半でオープン。午前中は米雇用統計の基準改定値の結果発表を控え、瞬時に146円台後半まで上昇する場面もあったが、その後に発表された米2024年3月までの雇用統計の基準改定値で雇用者数が約81万8000人下方修正されそうな結果を受け、米金利の低下に追随し、145円台ちよど付近まで下落する。午後には発表された米7月FOMC議事録では、「大多数のメンバーが9月の利下げが適切になりそう」とハト派の認識を示した事を受け、米金利が一段と低下する動きを横目に、144円台前半まで値を下げる。その後は売り一巡となり、145円台前半まで戻し、クローズ。

【金利】

昨日の米金利は低下。労働省による米雇用統計の大幅下方改定や7月FOMC議事要旨にて9月会合での利下げ着手が適切との認識が示され、一段と利下げ期待が強まったことが材料。短期ゾーンを中心に金利低下する展開となった。

【予想】

本日のドル円は上値の重い動きを予想。昨日の米雇用統計大幅下方改定や、FOMC議事要旨におけるハト派的な認識を踏まえ、足元ドル買い材料に乏しい状況。但し、明日ジャクソンホール会議におけるパウエル議長発言を控えていることもあり、大きな値動きは限定的となるか。

【本日の予定】

(日本) 7月 工作機械受注(確)
(日本) 8月 複合PMI(速) / 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(日本) 流動性供給入札
(アジア) 2Q インドネシア 国際収支・経常収支
(アジア) 7月 マレーシア CPI
(アジア) 7月 中国 SWIFT グローバル支払 CNY
(アジア) 8月 インド 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(アジア) 8月 豪 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(アジア) 韓国 金融政策会合
(欧州) 7月 仏 小売売上高 季調済
(欧州) 7月 愛 PPI
(欧州) 8月 ユーロ圏 消費者信頼感(速)
(欧州) 8月 ユーロ圏 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(米国) 7月 シカゴ連銀全米活動指数
(米国) 7月 中古住宅販売件数
(米国) 8月 カンサスシティ連銀製造業活動
(米国) 8月 製造業PMI(速) / サービス業PMI(速)
(米国) TIPS入札(30Y)
(米国) ジャクソンホール会議
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。